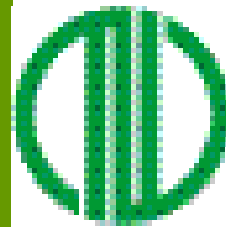


資料2

平成23年3月11日 東日本大震災 仙台市被害状況



仙台市災害対策本部

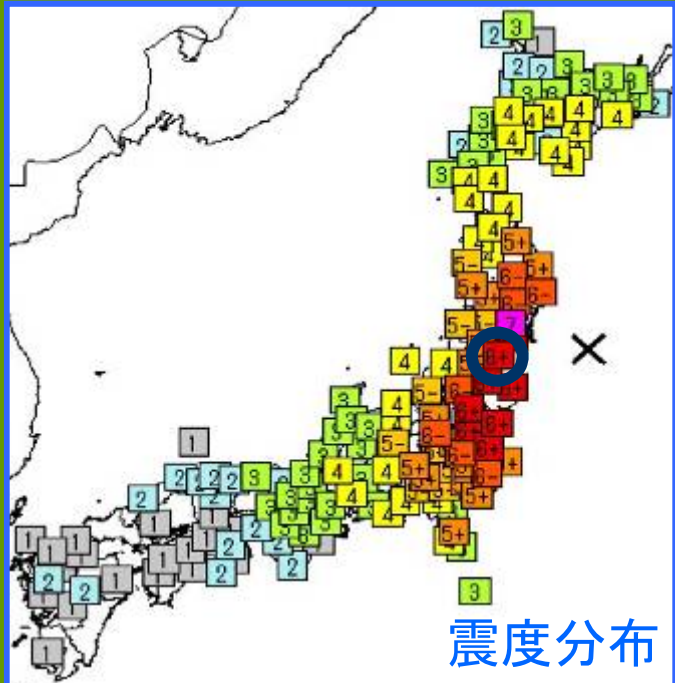
〔 消防局防災企画課 〕

〔 消防局減災推進課 〕

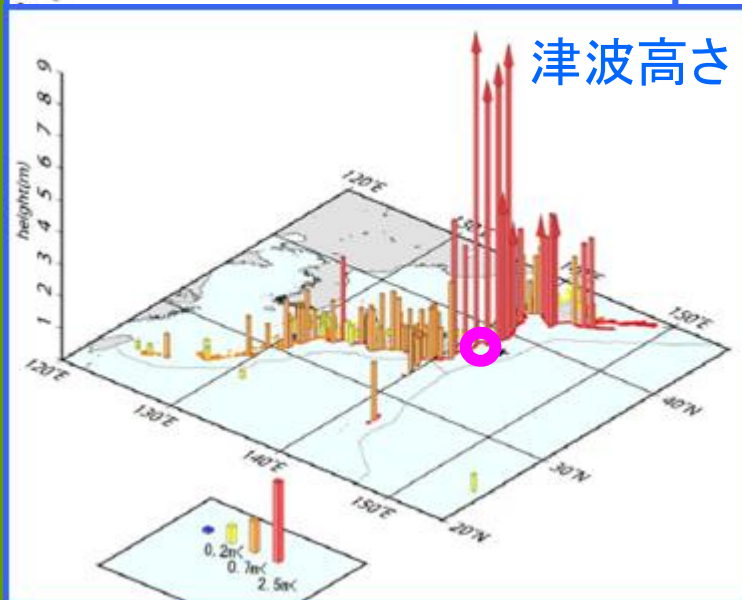
平成24年9月現在

※本資料中、年号を付していない月日は平成23年となります。

1 地震概要(気象庁)



- 発生日時 平成23年3月11日 14:46ころ
- 震央地名 三陸沖(北緯38.1度、東経142.9度)
- 規模 マグニチュード9.0(暫定値)
- 市内震度 震度6強 宮城野区
// 6弱 青葉区、若林区、泉区
// 5強 太白区
- 津波 3月11日14:49
太平洋沿岸に大津波警報発令
津波の高さ 仙台港 7.2m(推定値)
(3月13日17:58 津波注意報 解除)



- ※本地域での最大余震(4月7日23時32分頃)
マグニチュード7.1 宮城県沖
震度6強 宮城野区
震度6弱 青葉区・若林区
震度5強 泉区 震度5弱 太白区

2 沿岸部の被害状況(1)

仙台港付近

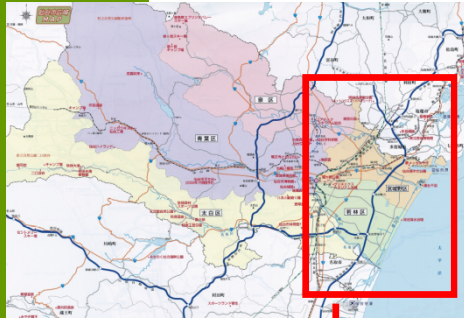


宮城野区蒲生付近



2 沿岸部の被害状況(2)

宮城野区岡田付近



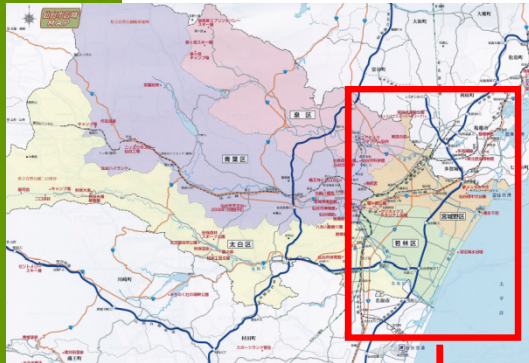
若林区荒浜



(3月11日)

2 沿岸部の被害状況(3)

太平洋沿岸部

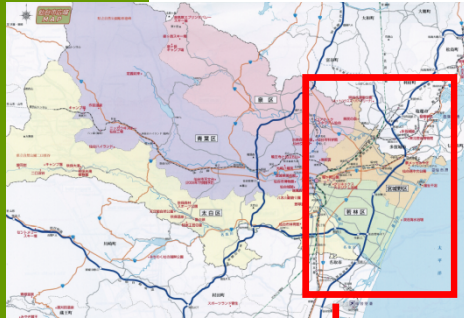


3 水田の被害状況

宮城野区岡田



高砂南部排水機場
(宮城野区蒲生)



海水が冠水したままの水田 (若林区荒浜)



土壌サンプル採取



4 宅地の被害状況



青葉区西花苑



青葉区折立

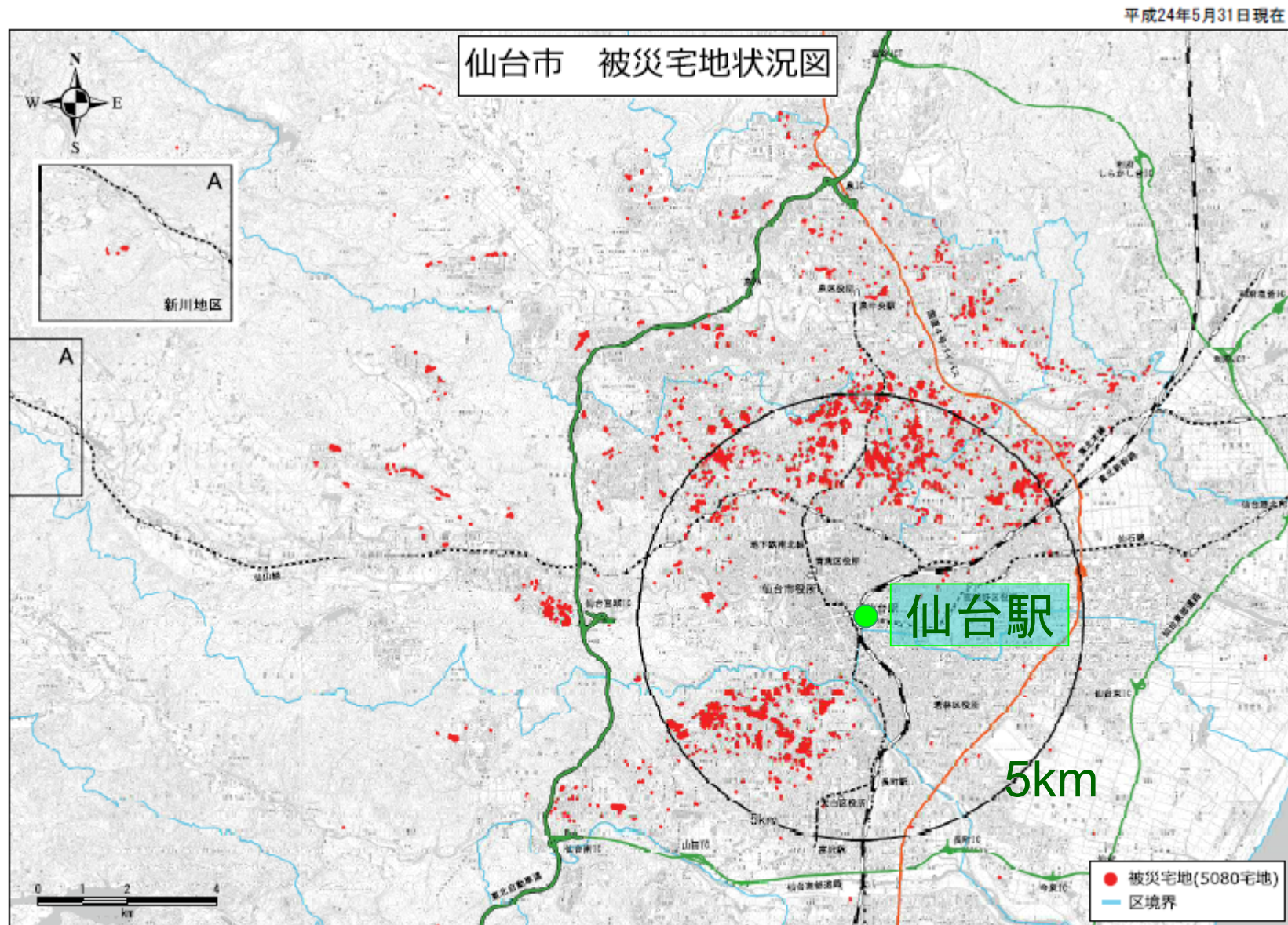


太白区緑ヶ丘



- ① 丘陵部地域の宅地で擁壁崩落・地すべり等が発生
(昭和30年代後半～40年代にかけて造成された団地)
- ② 被災宅地 約5,000世帯

4 宅地の被害状況(被災宅地の分布)



5 人的被害(仙台市内)

(1) 死者 891名 ※1,2,3,4,5 (男性492名、女性399名)

※1 仙台市住所登録者以外の方を含みます(92名)

※2 避難先で亡くなられた方など災害関連死の可能性のある方のうち、地震から概ね1ヶ月以内に亡くなられた方を含みます(237名)

今後、災害関連死については認定を待つ必要があり変動します

※3 本市独自集計のため、警察発表の数値と異なる場合があります

※4 仙台市内で発見された身元不明のご遺体の、本市で引き取りしたご遺体も含みます。

※5 市外で被災し死亡が確認された仙台市住所登録者は含みません(174名)(仙台市民の死者 971名(男性538名, 女性433名))

(2) 行方不明者 30名 (男性 17名、女性13名)

(3) 負傷者 2,271名 ※6 (把握できたもののみ)

うち 重傷 276名

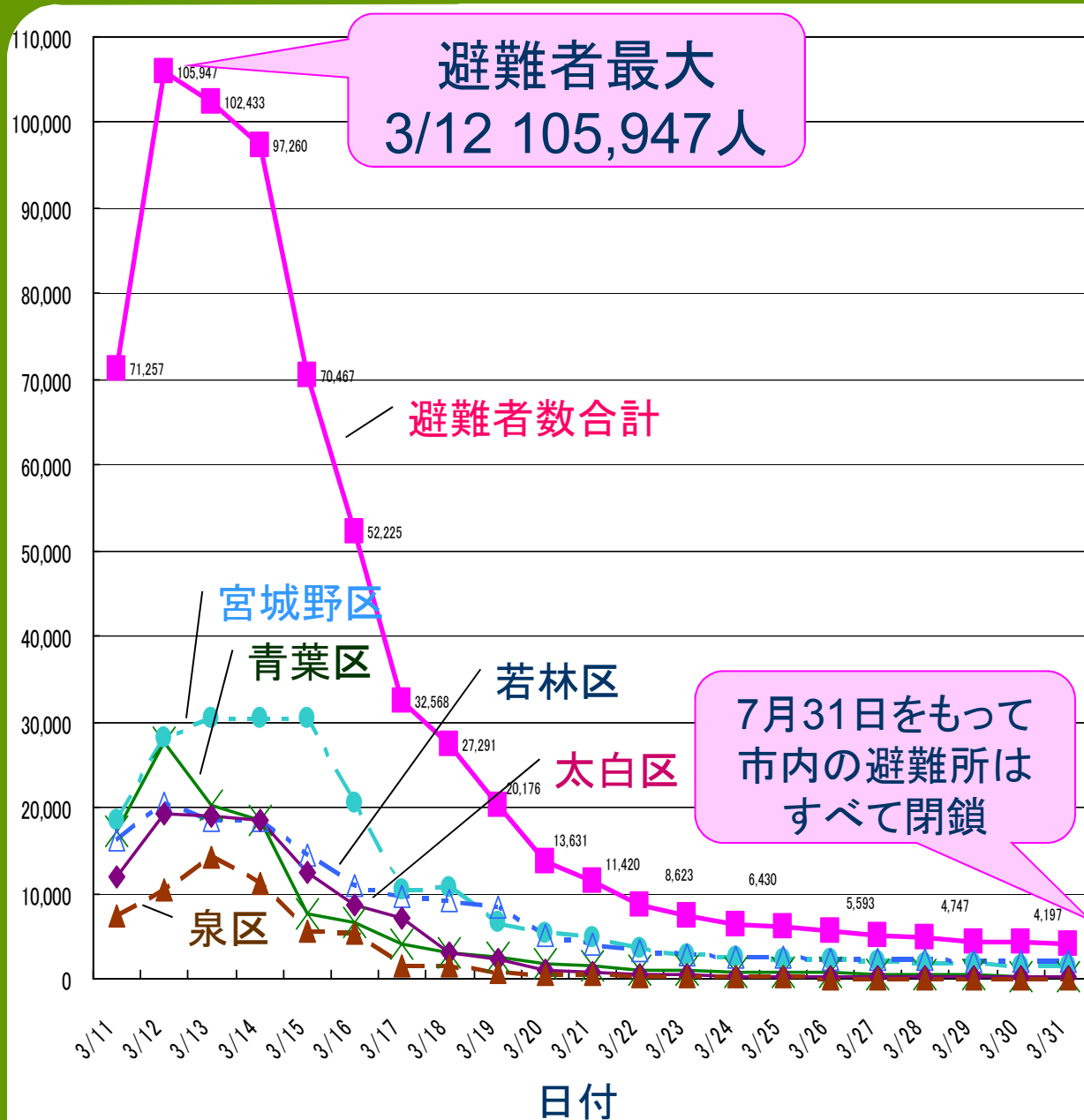
軽傷 1,995名

※6 4/7余震65名、7/25余震2名、7/31余震1名、8/19余震1名、

H24.8/30余震2名の負傷者を含みます (平成24年8月31日現在)

6 避難者の状況

避難者数(人)



	避難所閉鎖時期
青葉区	6月25日
宮城野区	7月31日
若林区	7月24日
太白区	7月9日
泉区	7月17日

7 建物被害(仙台市内)

平成24年8月26日 速報※

- ①全壊 : 29,912棟
- ②大規模半壊 : 26,828棟
- ③半壊 : 81,714棟
- ④一部損壊 : 115,803棟

※ 現在、建物被害調査中であることから、調査の進展に伴い数値は変化します。



8 ライフラインの被害と復旧状況(1)

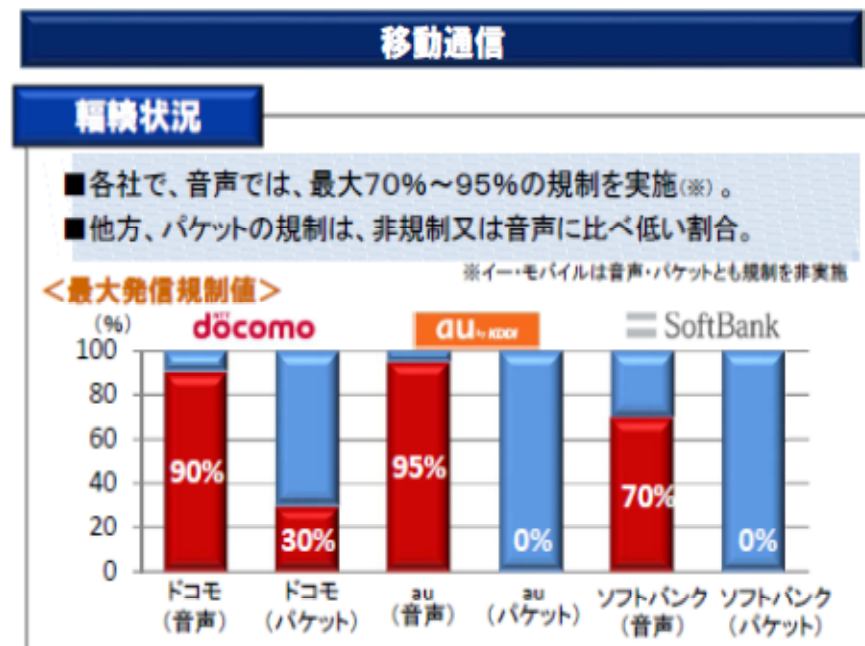
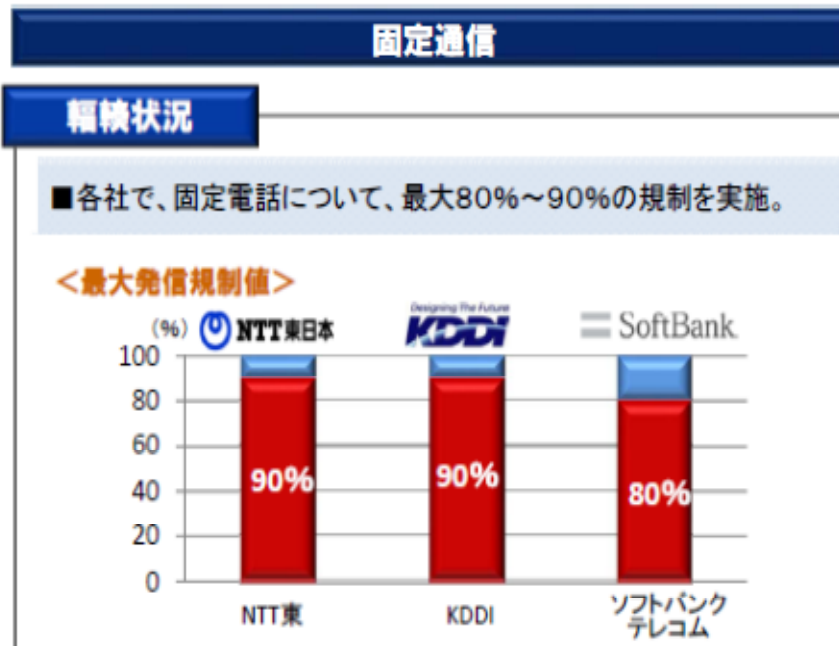
- 電気 138万戸停電(宮城県)
仙台市災害対策本部は、3/12復旧、市内順次復旧
※市内は宮城野区、若林区の一部を除き復旧
(宮城県内では、6月18日をもって、復旧作業に着手可能な地域の停電はすべて復旧)
- 水道 市内各地で断水、減水。宮城県仙南・仙塩広域水道は供給停止
断水人口約50万人
→ 津波被害地区以外は復旧済み
津波被害地区も順次給水開始中
- 下水道 南蒲生浄化センター: 津波被害で機能停止、簡易処理で対応中
- 都市ガス 全供給停止(総戸数358,781戸)
→ ガス局港工場が津波により浸水
→ 3月23日 仙台オープン病院、市立病院に供給を再開
(新潟からのパイプラインを活用)
→ 3月25日 閉栓作業終了
→ 4月16日 全面復旧(津波被災地・避難勧告区域等を除く)
※復旧隊 約4,200名(全国の都市ガス事業者3,700名 ガス局500名)

8 ライフラインの被害と復旧状況(2)

○道路 市内各地で道路破損、土砂崩落等が発生

○通信

(※大規模災害等緊急事態における通信確保の在り方に関する検討会 資料による)
(下記データは、国内の最大通信規制値)



8 ライフラインの被害と復旧状況(3)

○鉄道

- a) 地下鉄 3月12日、13日 運休(市営バスでの代替輸送)
3月14日 富沢⇔台原 再開(台原⇔泉中央 無料シャトルバス代替運行)
4月 1日 黒松⇔旭ヶ丘⇔台原各駅間無料バス運行
4月29日 全線再開
- b) JR等 震災後 JR仙台駅 被害により立入禁止(3月21日 東西自由通路通行再開)
東北新幹線 4月25日 仙台⇔福島 運転再開
4月29日 全線運転再開
在来線 4月12日以降、仙台⇔近郊 **順次再開**
仙台空港アクセス線 一部運休(10月1日全線再開)

- 市営バス 3月12日 約7割の路線で運行,地下鉄代替輸送実施
3月13日 主要幹線路線を不定期運行開始
3月14日 主要幹線路線で30分～1時間間隔で運行
3月28日～ **休日ダイヤで全便運行**
4月18日～ 始発便から通常運行再開

- 仙台空港 津波により冠水
4月13日～ **暫定運行開始**(再開当初:羽田4往復・伊丹2往復)

- 仙台港 岸壁・荷捌き地等損壊
4月 1日 一般船舶利用再開
4月 7日 自動車運搬船定期航路再開

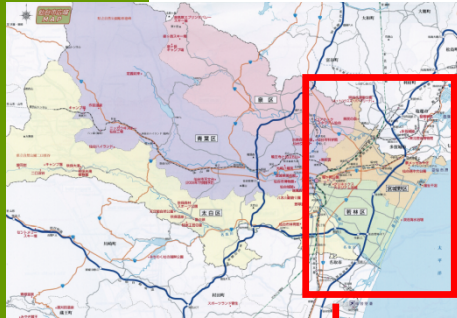
9 市内被害額の概要

被害推計額 約13,684億円 (H24 1/29現在)

- ① 市有施設関係: 約3,270億円
 - ・ライフライン関係(水道・ガス・下水道等) 1,680億円
 - ・都市基盤関係(地下鉄・道路橋梁・公園等) 1,270億円
 - ・生活衛生関係(廃棄物処理施設等) 20億円
 - ・建築物関係(学校・市営住宅・庁舎等) 300億円
 - ② その他公共施設: 約1,452億円
 - ・交通、ライフライン、保健医療関係、公共土木関係、文教関係など
 - ③ 住宅・宅地: 約6,086億円
 - ④ 農林水産業関係: 約729億円
 - ・農地、農業用機械等 約721億円
 - ・漁業関係 約8億円
 - ⑤ 商工業関係: 約2,147億円
(有形固定資産並びに製品在庫等の被災状況から想定)
- ※津波被災区域等における調査状況により大きく変動する可能性があります
※概数であるため合計額が一致しない場合があります

10 公共施設の被害状況(1)

ガス局港工場



南蒲生浄化センター(下水処理施設)

ガス局
港工場



消防ヘリポート
若林消防署
荒浜分署



10 公共施設の被害状況(2)

小学校・中学校 中野小学校



南光台小学校
長町中学校



11 仙台市における主な対応(1)

(1) 災害対策本部の状況

- ・ 3月11日14:46 仙台市災害対策本部設置

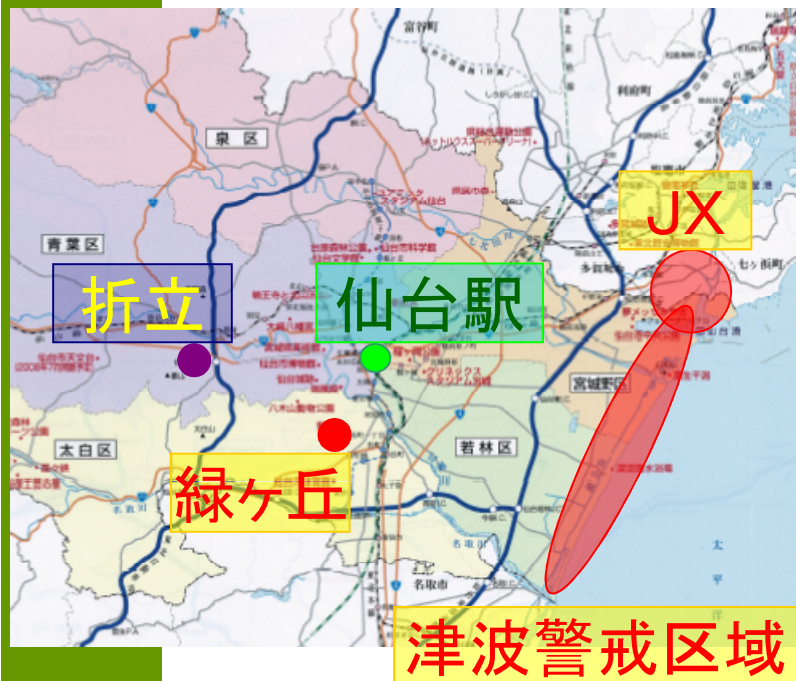


- ・ 3月11日16:00 第1回の災害対策本部本部員会議開催
10月28日までに62回開催(4/7の余震への対応として別に2回開催, H24 8/30の余震への対応として別に1回開催)



11 仙台市における主な対応(2)

(2) 避難勧告・避難指示等の発表状況



- 3月11日14:49 気象庁から大津波警報発表,
津波警戒区域に避難指示発表
- 14:53 津波情報伝達システム起動し,
避難指示広報
- 3月12日20:20 大津波警報から津波警報に切り
替え, 津波危険区域に避難勧
告発表
- 3月13日 7:30 津波警報から注意報への変更
に伴い避難勧告解除
- (同時刻) JX日鉱日石エネルギー(株)仙台
製油所火災に伴い, 製油所(多
賀城市)を中心に半径2km内
に避難指示
- 3月14日10:00 青葉区折立5丁目地区に警戒区
域を設定し立入制限を実施
- 3月15日15:00 JX日鉱日石エネルギー(株)仙台
製油所火災鎮火に伴い避難指
示解除
- 3月28日10:00 太白区緑ヶ丘4丁目地区に避難
勧告

11 仙台市における主な対応(3)

(2) 避難勧告・避難指示等の発表状況 (前頁から続く)

6月16日以降 青葉区、太白区、泉区において宅地被害が見られる部分に順次、避難勧告

※平成24年8月31日現在、避難勧告を行なっている箇所数、世帯数

青葉区	27地区	96世帯
宮城野区	1地区	8世帯
太白区	2地区	91世帯
泉区	8地区	19世帯
計	38地区	214世帯

(3) 応急仮設住宅等の提供(平成24年8月24日現在)

- プレハブ住宅 : 完成1,505戸, 入居数1,393戸
- プレハブ福祉仮設住宅 : 完成 18戸, 入居数 18戸
- 借上げ民間賃貸住宅 : 入居数7,814戸
- 公務員住宅等 : 入居数 751戸

11 仙台市における主な対応(4)

(4) 消防隊活動状況

① 地震・津波に起因する災害出場件数(暫定値)

※下記()は、4/7以降の余震に起因するもの内数

火災	39件(3件)※
救助	299件(17件)※
救急	141件(33件)※
ガス漏れ	113件(52件)※
危険物漏洩	46件(22件)※
自然災害	225件(47件)※

(がけ崩れなど)

② 救助活動状況

生存者救助	899名
避難誘導	3,931名

(5) 市民相談サービス等の開設状況

① 相談窓口、ダイヤルの設置

3月15日	仙台市災害ダイヤル 開設
4月1日	仙台市被災者支援相談窓口 及び 被災者支援情報ダイヤル の開設

※平成24年8月24日現在の受付状況

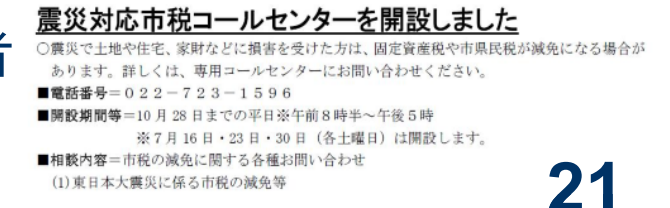
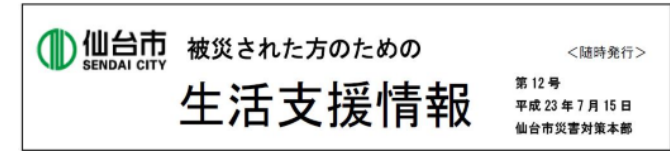
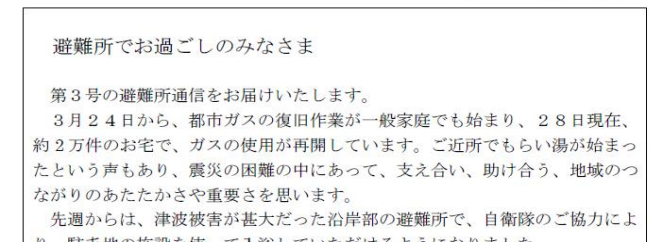
仙台市被災者支援相談窓口	122,873 件
被災者支援情報ダイヤル	100,794 件



11 仙台市における主な対応(5)

(5) 市民相談サービス等の開設状況(続き)

- ② 生活関連情報や各種支援制度・手続などの情報提供の充実
 - ・ ホームページ等の活用
震災関連ページ、被災者向け各種支援等
 - ・ 避難所通信(第10号をもって終了)
 - ・ 生活支援情報(第24号発行)
 - ・ 新聞広告の掲載
 - ・ 新聞折り込み(仙台市災害対策広報)実施。
- ③ 個別巡回相談の実施
 - ・ 4/11～すべての避難所を対象に巡回相談を実施。4月中に3巡実施
- ④ 「こころのケアサービス」の巡回ケアの実施
 - ・ 精神科医、保健師等で構成したチームが、避難所、応急仮設住宅の入居者及び在宅被災者(津波浸水区域)等を巡回し、被災者の「こころのケア」を実施



11 仙台市における主な対応(6)

(6) ボランティアセンター等の開設状況

- 3月15日 宮城野区災害ボランティアセンター
(宮城野体育館障害者アリーナ)開設
- 3月16日 若林区災害ボランティアセンター
(若林区中央市民センター別棟)開設
- 3月19日 太白区災害ボランティアセンター設
置(仙台市体育館第二競技場)開設
- 3月20日 青葉区災害ボランティアセンター(青
葉体育館)開設
- 3月27日 泉区ボランティアセンター開設
- 4月27日 北部津波災害ボランティアセンター
(宮城野体育館障害者アリーナ)・南
部津波災害ボランティアセンター(若
林区荒井土地区画整理地内)開設
- 6月 1日 津波災害ボランティアセンター(宮城
野体育館障害者アリーナ)に統合
- 8月10日 仙台市津波災害ボランティアセン
ター休止
- 8月17日 復興支援“EGAOせんだい”サポー
トステーション運用開始



12 他都市等からの主な支援

① 20大都市災害時相互応援に関する協定

避難所対応、応急危険度判定、下水道被害調査、し尿収集、保健活動、学校支援スタッフ、給水 等

② 18大都市水道局災害相互応援に関する覚書による応援給水

③ 全国からの都市ガスの応援

④ 行政職員派遣（罹災証明受付等被災者支援関係事務）

⑤ 姉妹都市をはじめとした国内各市からの支援

⑥ 陸上自衛隊

⑦ DMAT ほか、災害ボランティア、各種団体など多数

